

NPO法人 生ごみリサイクル思考の会

ゴミを減らす活動を続けています

ごみゼロ社会の実現に寄与することを目的に、平成16年から活動を始め今年で18年目になります。

可燃ごみの大半は厨房の生ごみであり、生ごみを減らせばごみ減量になることから、生ごみを堆肥に加工する活動を主にしています。この事業に賛同してくださる家庭に堆肥化の一次処理をお願いし、その一次処理品と堆肥舎で完成させた堆肥と交換する個別訪問回収方式で行っています。

今後さらに高齢化が進み、ごみ集積所へ持ち込む生ごみの入った重いごみ袋の軽減にもなると思っています。

ごみ減量は厨房から

生ごみの減量は水切りをすることが重要です。濡らさない・絞るなどでかなり減量します。野菜くず等の生ごみをなるべく出さないエコクリッキング教室も3年連続で行いました。

作業スタッフおよび会員募集しています。

活動日時 毎週水曜日 8:30～12:00

場 所 東員町ストックヤード東 堆肥舎

問 生ゴミリサイクル思考の会 ☎0594-76-8494 (平山)

PICK
UP

理事長の平山茂司さんに、この活動に対する思いをお聞きしました。

生ごみ堆肥化に参加したのは「定年後、暇にしているなら生ごみを堆肥にして協力者に配っているが見に来ないか?」と桑名の先輩からの一言で始まった。以来、約10年になります。

生ごみは捨てればただのゴミ、活かせば資源ということで微生物の力を借りて、堆肥になり、花や木、野菜の栄養となる。面白い!

東員町では現在約340世帯の人たちにご協力をいただいております。できる限り多くの人たちに参加して頂けたらと思っております。

生ごみを活かす堆肥化に関心のある方、是非ご一報ください。お待ちしております。

取材をしてみて…

この活動は生ごみを堆肥化するだけでなく、資源の有効活用やごみ減量の普及・啓発につながっていることが分かりました。堆肥舎で作業されてみえる方々の生き生きした姿が印象的でした。

理事長 平山茂司さん

